



住みやすい町を目指して... ④1

育ててもらった町のために

松田町消防団第4分団 分団長 橋本 重実さん

消防団は、皆様もご存じのとおり、各人が別に本業を持ちながら、有事の際には、地元の有志として、ボランティアで消防活動等に寄与する大変やりがいのある職務となっています。

現在、町内には全部で7つの分団があり、所管する地域の方々の生命と財産を守っていますが、第4分団は、神山、茶屋、店屋場、湯の沢が管轄エリアで、団員の活動拠点となる詰所を神山に有し、総勢16名からなる消防団経験年数の長い分団員が多く在籍する分団です。

日常的な活動内容としては、消火器や消火栓、防火水槽の機能点検や火災が多いシーズンにおける火災予防広報などとなります。近年では、これまでに経験したことのないような脅威を伴う台風の襲来も多いので、水防活動も欠かすことのできない大切な活動の一つとなっています。

また、消防団では、出初式の際に、消火活動の基本的な流れ（動作）となる消防操法をお披露目することも慣例となっています。この操法も4年に一度順番が回ってきますが、ちょうど本年1月にお披露目させていただいたところで、本番に向け、分団員一丸となり練習に励んだことが良い思い出となっています。



消防操法(令和2年消防出初式)

さて、次に地元の方々との関わり合いですが、我々は4つの自治会を管轄する分団ですので、管轄する住民の方々には日頃より、大変お気遣い、応援をいただいています。分団員も基本的には地元の住民ですので、顔見知りとして、お互いに安心・信頼できる関係性が築かれているものと自負しています。

最後に、今後の課題、目標となりますが、第4分団も私をはじめ、かなり年季の入った者が増えてきていますので、消防力等の維持、向上に向け、若い方々の力を積極的に迎え入れていきたいと考えています。地域の安全・安心を守る活動に少しでも興味がある方はぜひ声をおかけください。

我々は、今後も、この生まれ育った松田町が将来にわたり、笑顔あふれる、幸せの町であり続けるよう、また、地域の皆様が日々安心して暮らしていけるよう、微力ではありますが、尽力してまいりますので、ご理解、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

各分団では新入団員を募集しております。
『ふるさと自分たちで守る』
地域防災のために熱意のある若人よ、集まれ！

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

**第2回定例会は6月2日(火)開会 新型コロナウイルス対策のため
傍聴は5席となっております。発熱等症状がおりの方はご遠慮ください。**

議会広報広聴常任委員会
委員長 南雲まさ子
副委員長 唐澤 一代
委員 古谷 星十人
委員 田代 実
委員 飯田 秀孝
委員 大館 秀孝

(古谷)
安全宣言がされるまで手洗い、マスクの着用をし、3密は避けて感染しないよう頑張ります。

若葉の美しいころとなり、大型連休には帰省、行楽、各種行事と賑わう時期に、世界を震撼させている新型コロナウイルスの影響で外出の自粛、休校、休業行事等の延期、中止を余儀なくされ、消費の落ち込みは経済に深刻な影響を与えています。

